

和木町家庭学習の手引き

保護者の皆様へ



名 前

和木町教育委員会



1 はじめに		1
2 小学校に入るまで		2
3 家庭学習のポイント		3
4 小学校1・2年生		5
5 小学校3・4年生		7
6 小学校5・6年生		9
7 中学校1・2年生		11
8 中学校3年生		13
9 学びの足あと		14
10 おわりに		16



1 はじめに

学力をのばす輪気

子どもの学力を伸ばしたい。そのためには、何が大切なのでしょうか。

私たちは、「やってみよう」という学習に対する強い思いである**本気**、本気で学ぼうとしたことを学力として定着するまでやり遂げる**根気**、根気を支える**元気**が必要であると考えます。その3つの「気」をバランスよく育てていくことが学力を伸ばすと考えました。その3つの「気」が、相互に関わりあいながら発展していくことを願い「**輪気**」と名付けました。

家庭は、その輪気を育てる最良の場なのです。



家庭学習って何？

家庭学習とは、「宿題 + 自主学習」です

宿題が終わったら、家庭での学習は、終わりではありません。宿題は、クラス全員が同様に取り組むべき内容を教師が選んで出しています。しかし、子ども一人ひとりの得意なことや苦手なことは違います。ですから、宿題が終わったら、自分の得意・不得意に合わせた自主学習が必要となります。

自主学習を効果的に行うには、家庭の協力が不可欠です。お子さんの得意・不得意に応じた学習について、保護者からのアドバイスが大切です。そこで、家庭学習の手助けになることを願い、この「和木町家庭学習の手引き」を作成しました。是非、ご活用いただき、家庭と学校が共に連携して、子どもたちの学力を伸ばしていきましょう。

2 小学校に入るまで

自信をつけさせましょう



この時期の子ども

身の回りのことが、自分自身でできるようになってきます。また、やってよいことや悪いことを自分で判断し行動する力も育ってきます。さらに、動植物や自然現象に対しても興味をもちます。お子さんのよさをとらえて、やる気を高めることが大切です。そのためには、まず、**子どもに自信をつけさせましょう**。お子さんとしっかりと関わり、ほめたり、励ましたりしていきましょう。

絵本の読み聞かせをしましょう

まずは、親の膝の上にだっこしたり、添い寝したりしてお子さんに絵本の読み聞かせをしましょう。絵本を通して、親子の会話を増やしましょう。また、図書館を積極的に利用しましょう。（絵本について、和木町立図書館にお気軽にお問い合わせください 0827-54-0222）

自分でできることを増やしましょう



- 基本的な生活習慣の自立に努めましょう。
（着脱、排泄、食事、身の回りの清潔等）
特に「早寝・早起き・朝ごはん」を心がけましょう。
 - 進んであいさつができるように心がけましょう。
- ※ 正しい箸の持ち方を身につけさせましょう。

集団で遊ばせましょう

集団遊びは、学びのベースになります。集団での遊びを通して、人との関わり方や社会のルールを学び、人を思いやる心や我慢する心が形成されていきます。

和木小学校の先生から

幼児教育と学校教育がなめらかにつながるために、小学校では、視覚に訴えたり、遊びの要素を取り入れたり工夫をしながら取り組んでいます。まずは、学校生活に慣れることが大切。ご家庭では、お子さんの話にしっかりと耳を傾けてください。



3 家庭学習のポイント

山口県教育委員会では、家庭学習の充実をめざし、学習プリントが家庭で自由に活用できる「やまぐち学習支援プログラム」というサイトを設けています。どの学習プリントも山口県の先生が力を合わせて作った問題で構成されています。自主学習や土日・祝日等の学習で是非活用してください。

利用の方法

簡単！スリーステップ！



Step 1

やまぐち学習支援プログラム

検索

クリック！

検索サイトで「やまぐち学習支援プログラム」と入力して、検索ボタンをクリックしましょう。

Step 2

やまぐちっ子学習プリント

自学・自習のために

小学校

国語

理科

算数

社会

中学校

国語

理科

数学

社会

検索結果から、やまぐち学習支援プログラム～やまぐち教育総合支援サイト～を選びクリックします。支援サイトにある「やまぐちっ子学習プリント」から自分の勉強したい教科を選んでクリックします。

Step 3

該当する学年を選んでクリックします。

山口県教育委員会

やまぐち学習支援プログラム

知識・技能を活用して課題を解決する力を高める授業作りを支援します！

やまぐちっ子学習プリント

小学校

国語

該当の学年をクリックしてください。

1年生

2年生

3年生

4年生

5年生

6年生

1年生

領域

教科

学習プリントについて

1-1

あひはつせしやう

1-2

しつもんせしやう1

1-3

しつもんせしやう2

1-4

しつもんせしやう3

印刷

印刷

印刷

印刷

ここをクリックするとプリントが表示されます。後は、印刷するだけです。

4 小学校1・2年生

輪気キーワード 元気いっぱい

20分 「めど」



学習習慣を身につけさせましょう

この時期の子ども

学校に通い、本格的な学習の始まりです。様々なことに興味・関心を持ち、自分でやってみようとする時期です。手助けをしながら、できたことは、意欲と自信につながるように笑顔でほめましょう。「早寝・早起・朝ごはん」はもちろんのこと、家の手伝いや自分で学習の準備をする習慣をつけることから、自ら学ぶ意欲を育てていきましょう。

学校での学習内容

1年生

ひらがな、かたかなを読んだり書いたりする。
「て、に、を、は」を使い分けて文章を書く。
80字程度の漢字を読んだり、書いたりする。
100までの数について数えたり、表したりする。
1けたのたし算・ひき算をする。
簡単な2けたのたし算・ひき算をする。等

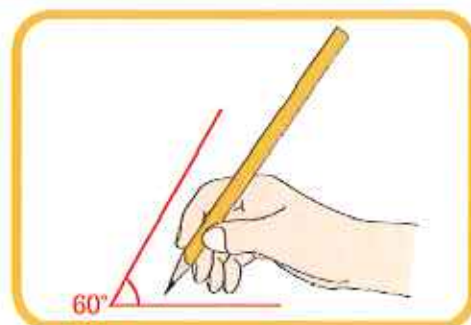


2年生

160字程度の漢字を読んだり書いたりする。
順序よく話をする。
定規を使っていねいに書きながら計算する。
2けたのたし算・ひき算を暗算や筆算でする。
簡単な3けたのたし算・ひき算をする。
九九をすらすら言う。
決められた長さの直線を正しく引く。等

家庭での学習

- ・学習前に身の回りの整頓をさせましょう。
- ・学校からのプリントや宿題は保護者が一緒に確かめましょう。
- ・何時までに学習を終えるか目標を立てさせましょう。
- ・正しい鉛筆の持ち方に注意させましょう。
- ・保護者の目の届くところで学習をさせましょう。
- ・正しい姿勢で学習する習慣をつけましょう。
- ・できるようになるまでは、連絡帳を見ながら、忘れ物がないように、保護者が一緒に確かめましょう。



～保護者が見守ってくれる安心感が1番大切な時期です～

学習の方法



教科書を毎日音読させましょう。
句読点に気をつけて、大きな声で読ませましょう。
書き順に気をつけて、ていねいに書かせましょう。
出来事の順番に気をつけながら日記を書かせましょう。
漢字ドリルなどを使い、繰り返し書かせましょう。



間違った問題は、必ずやり直す習慣をつけさせましょう。
文章題は、声に出して読んだり、絵や図に描いたりして考えさせましょう。
筆算の手順が正しく身につくように唱えながら練習させましょう。
九九が正しく覚えられるように練習させましょう。

家庭の生活

・学習しやすい環境づくりを心がけましょう

小学校に入学し、本格的な学習が始まる低学年では、まず学習習慣を身につけることが大切です。一人で学習するよりも親の目が入り、言葉を交わし合えるところで学習するとよいでしょう。

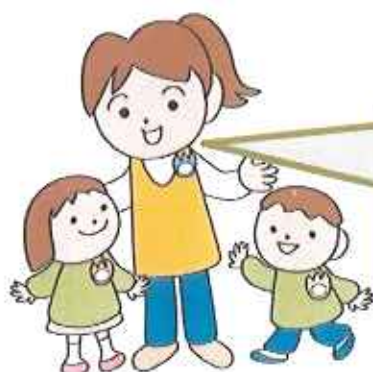
・読書の習慣をつけましょう

一人でもすぐに読めるように手に取りやすいところに本を置いたり、親子で一緒に本を読んだりして、読書環境を整えましょう。お家の方が読み聞かせをすることも大切です。この時期に読書習慣をしっかりと身につけさせましょう。

・家族団らんの時間を設けましょう。

学校のことや友だちのことについて笑顔で話を聞きましょう。
テレビやゲームの時間を1日どのくらいにするのか親子で話し合いましょう。
お手伝いを通して、家族の役に立つ喜びを体験させましょう。

和木幼稚園の先生から



親子のふれあいの時間をとっていますか。これからも、「手・目・心」をしっかりとかけてくださいね。いつも、幼稚園からお子さんの成長を見守っています。小学校での様子を話に来てくださいね。

5 小学校3・4年生

家庭での学習時間の目安

40分 程度



輪気キーワード 本気の取組

進んで学習する習慣を身につけさせましょう

この時期の子ども

自立心が芽生え、自分で挑戦しようとすることが多くなります。好奇心が旺盛で、行動範囲も広がってきます。みんなと行動することを好むとともに、自己主張や反抗が少しずつ見られるようになります。これらのことは、子どもの成長ととらえ、まずはしっかりと聴いてやることを心がけ、家族の温かい声かけで、学習に対する興味・関心を高めましょう。

学校での学習内容

3年生

200字程度の漢字を読んだり書いたりする。
国語辞典を使う。また、簡単なことわざを知る。
ローマ字を読んだり書いたりする。
3けた4けたのたし算・ひき算をする。
わり算をする。
はかりを使って重さを読む。等



4年生

200字程度の漢字を読んだり書いたりする。
漢字辞典を使う。
小数のかけ算・わり算をする。
分母が同じ分数のたし算・ひき算をする。
わり算の筆算をする。
分度器を正しく使う。等

家庭での学習

- ・学習前に身の回りの整頓をさせましょう。
- ・学校からのプリントを親に手渡しさせましょう。
- ・何時までに学習を終えるか目標を立てさせましょう。
- ・忘れ物がないように自分でチェックする方法を保護者が一緒に考えましょう。

～この時期までに、本気で学習する習慣を身につけさせましょう～

学習の方法



教科書を毎日音読させましょう。

句読点に気をつけて、大きな声で読ませましょう。

会話文は気持ちをこめて読ませましょう。

書き順、「はね」「とめ」「はらい」に気をつけて書かせましょう。

漢字ドリルなどで、繰り返し書かせましょう。

題名や書き出しを工夫して日記を書かせましょう。



計算の手順が正しく身につくように、毎日練習させましょう。

文章題は、声に出して読んだり、簡単な図に描いたりして考えさせましょう。

筆算は位をそろえて書き、手順を確かめながら計算させましょう。

家庭の生活

・読書の幅を広げましょう

様々なジャンルの本を読み、楽しかった本、おもしろかった本、感動した本を家族の中で話題にして読書の楽しさが広がるようにアドバイスしましょう。

分からない言葉や不思議に思ったことは、その都度、辞典や図鑑などを使い調べさせましょう。

・10歳の壁

10歳を境にして、脳が再び急成長すると言われており、これまでの受け身の学習から、主体的な学びを進めることが大切になります。特に、脳の司令室と言われている前頭前野を健全に育むことで、「考える力」、「やりぬく力」「友だちと仲良くする力」が高まります。

脳の発達において、10歳が一つの境目になることから、「10歳の壁」と言われています。脳の成長に応じた学びの工夫が必要となります。

脳科学から

脳科学の第一人者である川島隆太東北大学教授は、和木町での講演の際に、10年以上の臨床データに基づいて、「**読み・書き・計算の基礎的な学習**を十分行うことが、思考を司っている脳の**前頭前野**を最も活性化させ、考える力や創造性の基礎をも培う」と述べられました。

実際に、学習の前に読み・書き・計算を5分行うとその後の記憶力が20～30%向上すること、また、毎日徹底して継続していくと考える力も向上することが確かめられています。

6 小学校5・6年生

学校での学習時間が目安は

60分

1日2回

輪気キーワード 根気強さ

自分で学習する力を身につけさせましょう



この時期の子ども

自分でやろうとする意欲が高まります。また、一人前に接してもらっているか、大切にされているかなど、大人の評価が気になる時期でもあります。時には、大人への反抗も見られます。学習計画の内容や学習に取り組む姿勢を見守り、家族のアドバイスで、意欲や興味・関心が持続できるように励ましていきましょう。

学校での学習内容

5年生

185字程度の漢字を読んだり書いたりする。
今まで習った漢字を使った熟語を書く。
異分母のたし算・ひき算をする。
割合・百分率を使った問題を解く。
単位量あたりの大きさを知る。等



6年生

小学校で習った漢字を読んだり書いたりする。
歴史に残る古文を音読する。
分数のたし算・ひき算・かけ算・わり算をする。等

家庭での学習

- ・学習の始まりの時間と終わりの時間を決めて、目標をもって学習に取り組むようにさせましょう。また、チャレンジテストや単元のテストなどを目標にして、計画を立てましょう。
- ・分からないところをそのままにせずに、先生にたずねましょう。
- ・自主学習ノートに取り組みましょう。(自主学習ノートの取組例)
漢字ドリルや計算ドリル(自分の苦手克服)
復習(授業ノートの整理やまとめ)
(国語、社会、算数、理科)学習新聞づくり 等

学習の方法



教科書を毎日音読させましょう。声の強弱や、スピード、間などを工夫しながら音読をさせましょう。

書き順、「はね」「とめ」「はらい」に気をつけて書かせましょう。

漢字ドリルなどで、繰り返し書かせましょう。

出来事のまとまりごとに段落を構成して日記を書かせましょう。



計算の手順が正しく身につくように毎日練習をさせましょう。

筆算は、ノートの線を使って位をそろえて書かせましょう。

答えの確かめを自分でさせ、間違ったところはやり直させましょう。



家庭の生活

・挑戦する心

苦手なことや初めてのことにも挑戦させましょう。そのことが、集団の中で役立つ喜びや自信につながります。そして、根気強く最後までやり遂げる習慣を身につけさせましょう。(保護者の励ましの言葉が重要です)

・親子で本を読む時間

親子で一緒に本を読む時間を設けましょう。子どもと同じ本を読んで、感想を話し合うこともおすすめです。

・時間の使い方

高学年になると、子どもの自由な時間は、だんだんと少なくなってきます。だからこそ、1日の生活時間を見直し、時間の使い方を工夫するようにアドバイスしましょう。

和木中学校の先生から

中学生になったら、部活動が始まります。お子さんは、慣れないことにとまどうかもしれませんが、何でも挑戦させてください。また、学習内容も少しずつ難しくなるので、部活動と両立できるように家庭学習の習慣を身につけさせましょう。



7 中学校1・2年生

家庭での学習時間を目安に

100分

にやぞ！

輪気キーワード 輪気力向上

計画的に学習する力を身につけさせましょう



この時期の子ども

心と体の成長がアンバランスになりがちで、不安や悩みをもちやすくなります。また、家族に依存したいという気持ちと、家族から自立したいという気持ちが混在する時期でもあります。矛盾する大人の態度に反抗的になったり、仲間や友だちの影響を強く受け、他の人から見た自分を意識するあまり、落ち込んだりもします。学習方法や部活動のことについて、アドバイスすることで、自信をもち、成長します。

家庭学習のポイント

・定期テストを目安に計画を立てましょう

定期テストや到達度テストがいつあるのかをカレンダーに書き込みましょう。学校から配布される定期テスト学習計画表を家族も確認しましょう。

・学習内容が理解できていないと感じたら

①分かるところまで戻ってやり直しをさせましょう。

②間違ったところをもう一度させてみましょう。

③先生や友だちに相談するようにアドバイスしましょう。

※分からないことをそのままにさせないようにしましょう。

・予習復習を大切にさせましょう

あらかじめ自分で調べたり、考えたりしてから授業に臨めば、課題意識も高まり、授業に集中できるようになります。また、その日のノートをまとめたり、ワークを活用したりして、学習のポイントを整理しましょう。

※小学生の時に自主学習ノートで身につけた勉強方法が生かされます。



学習の方法



○教科書を繰り返し音読しましょう。

○新出漢字や読めない漢字、意味の分からない語句は辞書を使って調べましょう。

○学習してきた漢字を繰り返し書いて覚えましょう。(毎日最低でも100字は練習)

○授業で使ったノート、プリントやワークを整理し、授業の振り返りをしましょう。



○授業で使ったプリントやワークを整理し、授業を振り返りましょう。

○授業で学習した問題をもう一度解いてみましょう。

○間違えた問題を繰り返しできるまで練習しましょう。



- 教科書を音読しましょう。(1ページ3回音読→読めない単語のチェックと確認)
- 毎日1ページ英語を書きましょう。(単語、連語、基本文を何度も練習)
- 学校で出された課題(ワークやノートのまとめ等)を確実にやり遂げましょう。
- 新出単語や教科書の本文の意味は辞書を使って調べましょう。



- 地理・・・地図を描いて、地形や気候、産業などを書き込みましょう。
- 歴史・・・歴史の流れがつかめるように、歴史上の人物や政治上の出来事を時代ごとにまとめましょう。
- 公民・・・政治や経済等の仕組みを図式化してまとめてみましょう。専門的な用語の意味をつかみましょう。



- 授業で使ったプリントやワークを整理し、授業を振り返りましょう。
- 学校で学習したことに工夫を加えてノートにまとめましょう。
- 学習した理科用語を正しい漢字で書けるようにしましょう。



家庭の生活

・目的に合わせた読書

日常の中で、自分の生き方や考え方、興味・関心の幅を広げるのに役立つ本や、学校で学習した内容をより深めることのできる本も読ませるようにしましょう。

・将来の夢

子どもの将来の夢や希望について、話し合う時間をもちましょう。また、働いてきた親の体験(失敗や成功)について、語る時間もちましょう。

新聞やニュースなどから、社会の出来事や様々な職業に関する話題についても親子で話し合いましょう。

・我が家のルール

携帯電話をもつことが、本当に必要なのか、もつのであれば利用方法・利用時間やフィルタリングなどのアクセス制限についてルールを作りましょう。

～大切なのは、「よそはよそ！うちのうち！」～

和木小学校の先生から

小学校で身につけたことが、中学校で生かせるように和木中学校の先生と連絡を取り合っています。中学校で、授業の様子を見たり、中学校の先生と協力して授業をしたりすることが増えてきました。成長していく卒業生の姿を見ることが楽しみです。いつまでも応援しています。



8 中学校3年生

家庭での学習時間の目安は

120分 ぐらい！



輪気キーワード 輪気力発揮

進路に向け、自分自身で学習を進めましょう

この時期の子ども

自らの進路の選択について思い悩む人生の節目が近づいてきます。「やらなくては」と自分自身がいちばんよくわかっていながら、思うように学習が進まないことにイライラしたり、大人に反抗したりすることもあります。進路に関する情報が不足すると、本人も家族も不安になります。正しい進路情報をもとに、家族で話し合う機会を多くもちましょう。

家庭学習のポイント

進路についての目標

- ・オープンスクールや学校説明会に積極的に参加しましょう。
- ・定期テストや到達度テスト、入学試験に向けて計画的に学習しましょう。
- ・不得意な教科の学習にも力を入れましょう。



授業の振り返り

- ・授業で分かったこと、分からないことを教科書や参考書で確かめましょう。
- ・国語の漢字、英単語や文型、数学の公式は繰り返し書いて覚えましょう。
- ・社会や理科の重要な語句や用語をノートにまとめて暗記しましょう。

家庭の生活

・部活動を引退したら

部活動引退後は、帰宅してから夕食までの時間が長くなります。間食が増えて夕食が食べられなくなったり、テレビの視聴時間が長くなったりして、生活のリズムが乱れがちです。これまでの家庭学習で身につけた力を発揮して、自分の夢の実現に向けて、取り組みましょう。

・自分の進路

自分の進むべき道は、自分で決めるものです。自分の将来と向き合い、自分の進路を決めましょう。



9 学びの足あと

一年間を通じて取り組む家庭学習の目標を書きましょう。

和木小学校 1 年 生		保護者のサイン	先生のサイン
めあて			
ふりかえり			

和木小学校 2 年 生		保護者のサイン	先生のサイン
めあて			
ふりかえり			

和木小学校 3 年 生		保護者のサイン	先生のサイン
めあて			
ふりかえり			

和木小学校 4 年 生		保護者のサイン	先生のサイン
めあて			
ふりかえり			

和木小学校 5 年 生		保護者のサイン	先生のサイン
めあて			
ふりかえり			
和木小学校 6 年 生		保護者のサイン	先生のサイン
めあて			
ふりかえり			
和木中学校 1 年 生		保護者のサイン	先生のサイン
めあて			
ふりかえり			
和木中学校 2 年 生		保護者のサイン	先生のサイン
めあて			
ふりかえり			
和木中学校 3 年 生		保護者のサイン	先生のサイン
めあて			
ふりかえり			

10 おわりに

学校で学習したことを身につけていくためには、根気強く学習に取り組むことが大切です。そのためには、学校だけでなく家庭での学習も重要となります。この手引きでは、一般的な子どもの発達段階にそって、家庭での学習の助けとなるように、「元気」「本気」「根気」の3つをキーワードとして、何を大切にすればよいのかをご紹介します。

現実には、「いま」各家庭で、取り組まなければならないこともあると思います。そのことも大切にしながら、子どもの将来の夢や希望の実現に向けて、この手引きをご活用いただき、保護者と学校が連携した取組の一助になることを願っています。



この手引きに関するお問い合わせ

和木町教育委員会事務局 電話 0827-53-3123

発行年 平成25年3月

和木の子ども三つの約束

- あいさつをします。
- 時間を守ります。
- はき物をそろえます。

